

# 化学療法計画書

ID							
氏名							
生年月日							
実施部署				発行日			
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m <sup>2</sup> )	1.50	Ccr (mL/min)	70.0

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	非小細胞肺癌
治療法	キイトルーダ+パクリタキセル+カルボプラチン併用療法

	1	2	3
抗癌剤・商品名	キイトルーダ	パクリタキセル	カルボプラチン
規格	100mg/4mL	30mg/5mL 100mg/16.7mL	50mg/5mL 150mg/150mL 450mg/45mL
一般名	ペムブロリズマブ	パクリタキセル	カルボプラチン
一日投与量(規定)	200mg/body	200mg/m <sup>2</sup>	AUC*6
患者情報から算出した一日投与量	<b>200 mg</b>	<b>300.22 mg</b>	<b>570 mg</b>
実際の投与量	<b>mg</b>	<b>300 mg</b>	<b>550 mg</b>
		<b>199.9 mg/m<sup>2</sup></b>	<b>AUC*5.8</b>
投与日	day1		
1クール期間	21日間		
予定クール数			
検査スケジュール	原則的に投与日にiCI投与前セット 検査データに応じて臨時に検査実施		

適応基準	扁平上皮非小細胞肺癌
推奨経口剤	○このレジメンは中等度催吐性リスク群です。 ※5HT3受容体拮抗薬+点滴デカドロン(点滴レジメン組込み)以外に以下の経口制吐剤を推奨します。 デカドロン: day2、3、4: 8mg/日 イメンド: day1(抗癌剤投与前) 125mg、day2・day3 80mg/日はオプションとして使用可。 ただし、デカドロン投与量を半減すること。
禁忌	1.本剤の成分又は他の白金を含む薬剤、ポリオキシエチレンヒマシ油含有製剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 2.高度な骨髄抑制のある患者 3.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 4.重篤な腎障害のある患者 5.感染症を合併している患者 6.次の薬剤を投与中の患者: ジスルフィラム、シアナミド、カルモフル、プロカルバジン塩酸塩
中止基準	投与前の好中球数: 2000/mm <sup>3</sup> 未満、血小板数: 50,000/mm <sup>3</sup> 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (パクリタキセル添付文書内投与基準ならびにCTCAE ver4.0におけるGrade3の血液毒性に準拠)
副作用	<p>●キイトルーダ</p> <p><b>重大</b> 1.間質性肺疾患 2.大腸炎、重度の下痢 3.皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、多形紅斑 4.類天疱瘡 5.神経障害 6.肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎 7.甲状腺機能障害 8.下垂体機能障害 9.副腎機能障害 10.1型糖尿病 11.腎障害 12.膵炎 13.筋炎、横紋筋融解症 14.重症筋無力症 15.心筋炎 16.脳炎、髄膜炎 17.免疫性血小板減少性紫斑病 18.溶血性貧血 19.赤芽球癆 20. Infusion reaction</p> <p><b>その他</b> (10%以上)下痢、悪心、疲労、そう痒症、発疹 (1~10%未満)貧血、好中球減少、血小板減少、白血球減少、リンパ球減少、血中TSH増加、血中TSH減少、涙液増加、眼乾燥、嘔吐、便秘、口内乾燥、腹痛、口内炎、上腹部痛、無力症、発熱、末梢性浮腫、インフルエンザ様疾患、粘膜の炎症、悪寒、倦怠感、食欲減退、低マグネシウム血症、関節痛、筋肉痛、背部痛、四肢痛、筋痙攣、頭痛、味覚異常、浮動性めまい、末梢性感覚ニューロパチー、錯感覚、血中クレアチニン増加、呼吸困難、咳嗽、脱毛症、皮膚乾燥、斑状丘疹状皮疹、尋常性白斑、紅斑、湿疹、体重減少</p> <p>●パクリタキセル</p> <p><b>重大</b> 1.ショック、アナフィラキシー様症状 2.白血球減少等の骨髄抑制 3.末梢神経障害、麻痺 4.間質性肺炎、肺線維症 5.急性呼吸窮迫症候群 6.心筋梗塞、うっ血性心不全、心伝導障害、肺塞栓、血栓性静脈炎、脳卒中、肺水腫 7.難聴、耳鳴 8.消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍 9.重篤な腸炎 10.腸管閉塞、腸管麻痺 11.肝機能障害、黄疸 12.膵炎 13.急性腎障害 14.中毒性表皮壊死融解症(TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群) 15.播種性血管内凝固症候群(DIC) 16.腫瘍崩壊症候群 17.白質脳症</p> <p><b>その他</b> (20%以上または頻度不明)悪心・嘔吐、食道炎、粘膜炎、腹水、腸間膜血栓症、脱毛、斑状丘疹性皮疹、強皮症様変化、亜急性性皮膚エリテマトーデス、暗点、黄斑浮腫、関節痛、筋肉痛、筋力低下、血栓症 (5~20%)発疹、低血圧、下痢、食欲不振、口内炎、便秘、AST上昇、AI-P上昇、LDH上昇、ALT上昇、電解質異常、BUN上昇、呼吸困難、無力症、腹痛、倦怠感、頭痛、骨痛、背部痛、発熱、潮紅</p> <p>●カルボプラチン</p> <p><b>重大</b> 1.汎血球減少等の骨髄抑制 2.ショック、アナフィラキシー 3.間質性肺炎 4.急性腎障害、ファンコニー症候群 5.肝不全、肝機能障害、黄疸 6.消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍 7.出血性腸炎、偽膜性大腸炎 8.麻痺性イレウス 9.脳梗塞、肺梗塞 10.血栓・塞栓 11.心筋梗塞、うっ血性心不全 12.溶血性尿毒症症候群 13.急性呼吸窮迫症候群 14.播種性血管内凝固症候群(DIC) 15.急性膵炎 16.難聴 17.白質脳症 18.腫瘍崩壊症候群</p> <p><b>その他</b> (10%以上または頻度不明)悪心・嘔吐、食欲不振、蕁麻疹、ALT上昇、脱毛、全身倦怠感、無力症、尿酸上昇、悪寒、脱水、体重減少、アルブミン低下、呼吸困難 (1~10%未満)下痢、口内炎、腹痛、便秘、血尿、蛋白尿、発疹、末梢神経障害、頭痛、AST上昇、AI-P上昇、ビリルビン上昇、LDH上昇、γ-GTP上昇、血清ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、リン、マグネシウム等の異常、発熱、浮腫</p>
備考	

# キイトルーダ+パクリタキセル+カルボプラチン併用療法 観察記録

所要時間: 3時間

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )
医師	指示医師:		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	キイトルーダ ( mg ) 一般名(ペムブロリズマブ)			
	パクリタキセル ( mg ) 一般名(パクリタキセル)			
	カルボプラチン ( mg ) 一般名(カルボプラチン)			
<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止				投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食 250mL		3時間30分かけて点滴【71mL/hr】	
		生食100mL+キイトルーダ	30分かけて点滴【200mL/hr】 ※フィルター付き点滴ラインを使用	
		生食 100mL +アロキシ1V +ポララミン1A +ファモチジン1A +デカドロン 3 A	30分かけて点滴【200mL/hr】	
		5%ブドウ糖250mL +パクリタキセル	1時間かけて点滴【 mL/h】 ※フィルター付き点滴ラインを使用	
		5%ブドウ糖 250mL +カルボプラチン	1時間かけて点滴【 mL/h】	
本体終了後抜去				